

I—太陽と月 (天空の明暗)

日付	太陽		月			月の相
	日出 (星座)	日没	月齢	月出 (星座)	月没	
1	6 46 (さそり)	4 45	12.9	16 5 (うし)	6 23	○満月 2日10時31分
6	6 51	4 45	17.9	20 34 (かに)	10 17	●下弦 10日15時24分
11	6 55	4 46	22.9	0 31 (さとめ)	12 33	
16	6 58	4 47	27.9	6 21 (さそり)	15 57	●新月 17日11時53分
21	7 1 (いて)	4 49	3.5	10 35 (やぎ)	22 1	●上弦 24日5時9分
26	7 3	4 52	8.5	12 53 (うを)	2 12	
31	7 5	4 55	13.5	16 30 (うし)	6 57	○満月 翌1日5時54分

II—天象

日	時	分	天象
2	10	31	満月
5	8		海王星の下矩 光度6.1等. 赤経 1^h29^m . 赤緯 $+8^{\circ}42'$. 視直径 $3''6$.
6	20		水星が西方に離角 $20^{\circ}41'$. 光度負0.3等. 視直径 $6''6$. 月初め天秤座の α と β のほど中央にあるが、中旬には蝸の β と δ の間をすぎ、アンタレスの北を通つて月末には蛇遣 θ の北に到る.
10	7	20	海王星(北 $3^{\circ}1'$)と月と會合.
13	3	47	木星(北 $6^{\circ}3'$)と月と會合. 木星の視直径は $31''$. 光度-1.4等. 乙女座 θ の近くを順行中.
15	22		海王星の停留.
16	6	37	水星(北 $6^{\circ}16'$)と月と會合.
19	7	45	火星(北 $1^{\circ}16'$)と月と會合. 火星は射手座 ρ の南より、月末には山羊座の西端に到る. 視直径 $4''4$.
20	15	57	月により金星が掩蔽される. 續いて18時1分には土星が掩蔽される. 遊星が月に掩蔽されるのは珍しい現象であるが、遊星が相續いて2つも掩蔽されるのは非常に珍しい. 月齢は約3.2であつて地球照もよく見られるだろう. 金星は三ヶ月形に輝いてゐる. これが月のほど東縁(暗い縁)から潛入する. 17時13分には西南より少しく南よりの方向から出現する. 土星は金星が潛入した後、18時1分に北北東の縁(月の暗い部分)より潛入し、18時58分には西方より出現する. 掩蔽の時刻は金星の場合には三ヶ月形に見えてゐる兩縁、土星のときは環や本體の潛入時刻を測る. 時計は前後1日くらいラヂオと比較し大切に取扱ふ. 1秒以内正確に時刻を知る必要がある.
21	19		金星(南 $20'$)と土星との會合.
22	15	58	冬至. 之より次第に日が長くなる.
26	2	11	天王星(南 $5^{\circ}38'$)と月と會合.
26	7		水星が降交點.
30	18		金星が昇交點.
31	20		金星最大光輝. 光度負4.4等. 地球よりの距離3400,0000里.

本年十二月の夜の天空

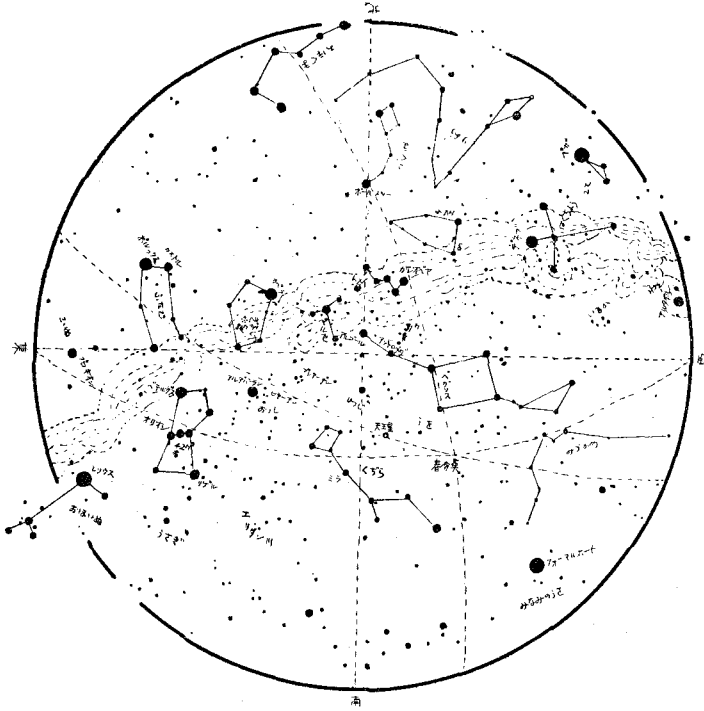
(恒星時 Sidereal Time 2時)

日本の中央部(京阪神地方)で

12月1日ならば午後9時

15日ならば午後8時

東京は約15分早く、福岡は約20分遅く現はる。但し時刻は日本中央標準時



III—十二月の天空

冬の星はよくまたよく、木枯しの吹くたびに人は體をちぢめ星はまたよく、西の空には白鳥座の大十字架をなごりとして夏の星々は没してしまつた後である。北の空にはカシオペア座のWが地平の方向にひらいて北極星を指し示してゐる。銀河はぼんやりと東西に流れWからペルセウスそれから黄金色に輝くカペラをもつ駈者座を貫き双子座とオリオンの間を通つて東の地平に入る。東の地平の上に花火の様に縦にならんだ3つの星がオリオンの3つ星である。3つ星の南には青い色の一等星リゲルがありその間にぼんやり見えてゐるのがオリオンの大星霧である。天頂のすぐ東にはプレヤデスの星々が葡萄の房の如くかたまつて輝いてゐる。オリオン座の下方に目を射る如く輝く星は天狼星である。